

平成30年度

伊賀南部環境衛生組合

一般会計決算審査意見書

伊賀南部環境衛生組合監査委員



伊南環監第13号  
令和元年9月30日

伊賀南部環境衛生組合  
管理者 亀井利克様

伊賀南部環境衛生組合  
監査委員 菅生治郎  
同 川上善幸

平成30年度伊賀南部環境衛生組合一般会計歳入歳出  
決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された平成30年度伊賀南部環境衛生組合一般会計歳入歳出決算及び附属書類について審査を行った結果、次のとおり意見を提出します。

## 平成30年度伊賀南部環境衛生組合一般会計歳入歳出決算審査意見書

### 1. 審査の対象

平成30年度伊賀南部環境衛生組合一般会計歳入歳出決算、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書

### 2. 審査した期間 令和元年7月30日から令和元年9月27日

### 3. 審査の方法

審査に付された決算書及び付属書類が、関係法令に基づき適正に作成されているか、決算計数は正確であるか等について審査を行った。

### 4. 審査の結果

審査に付された決算書及び付属書類は、関係法令の規定に基づき作成され、また、計数は関係帳簿及び証書類と符号しており、適正であると認めた。

### 5. 審査の概要

#### (1) 総括

平成30年度の決算額は、歳入総額1,985,318,585円、歳出総額1,951,233,018円、歳入歳出差引額は34,085,567円となり、実質収支額も同額となった。

この決算額を前年度と比較すると、歳入総額は11,774,964円(0.6%)の増加、歳出総額は51,183,922円(2.7%)の増加である。

平成26年度以降の決算額を比較すると次のとおりである。

#### [決算額年度別比較表]

(単位：円、%)

年度	予算額	歳入決算額	指数	歳出決算額	指数	歳入歳出差引額
26	1,899,393,000	1,894,719,346	100.0	1,840,197,188	100.0	54,522,158
27	1,919,955,000	1,926,380,391	101.7	1,864,005,884	101.3	62,374,507
28	1,847,269,000	1,847,248,697	97.5	1,809,414,169	98.3	37,834,528
29	1,967,086,000	1,973,543,621	104.2	1,900,049,096	103.3	73,494,525
30	1,973,876,000	1,985,318,585	104.8	1,951,233,018	106.0	34,085,567

※ 指数は平成26年度を100とした。

## (2) 歳入

歳入決算額は、次のとおりである。

(単位：円、%)

予算現額	調定額	決算額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
					対予算	対調定
1,973,876,000	1,985,318,585	1,985,318,585	0	0	100.6	100.0

歳入決算額は1,985,318,585円で予算現額に対する収入率は100.6%、調定額に対する収入率は100.0%である。

各款別決算額は、次のとおりである。

(単位：円、%)

区分 款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	構成比
分担金及び負担金	1,687,319,000	1,687,319,000	1,687,319,000	0	0	85.0
使用料及び手数料	207,750,000	212,326,850	212,326,850	0	0	10.7
繰越金	73,494,000	73,494,525	73,494,525	0	0	3.7
諸収入	5,313,000	12,178,210	12,178,210	0	0	0.6
計	1,973,876,000	1,985,318,585	1,985,318,585	0	0	100.0

収入の主なものは、分担金及び負担金では、名張市分担金1,520,060,000円(90.1%)、伊賀市分担金167,259,000円(9.9%)である。使用料及び手数料では可燃ごみ処理手数料77,035,440円、不燃ごみ処理手数料18,249,480円、ごみ処理手数料105,402,000円(名張市分96,209,000円、伊賀市分9,193,000円)である。諸収入では、廃品売払収入7,918,285円、有償入札抛出金等2,995,587円である。

[款別歳入比較表]

(単位：円、%)

款	区 分	収 入 済 額		比 較 増 減	増 減 率
		平成30年度	平成29年度		
分担金及び負担金		1,687,319,000	1,714,581,000	△27,262,000	△1.6
使用料及び手数料		212,326,850	209,668,218	2,658,632	1.3
財 産 収 入		—	1,596,000	△1,596,000	皆減
繰 越 金		73,494,525	37,834,528	35,659,997	94.3
諸 収 入		12,178,210	9,863,875	2,314,335	23.5
計		1,985,318,585	1,973,543,621	11,774,964	0.6

収入済額を前年度と比較すると11,774,964円(0.6%)の増加である。これは主に繰越金が増加したことによるものである。

[廃棄物処理手数料比較表]

(単位：円、%)

区 分	平成30年度	平成29年度	比較増減	増 減 率
粗大ごみ処理手数料	3,097,200	2,781,400	315,800	11.4
特定家庭用機器 処 理 手 数 料	362,000	198,000	164,000	82.8
可燃ごみ処理手数料	77,035,440	75,776,280	1,259,160	1.7
不燃ごみ処理手数料	18,249,480	17,700,360	549,120	3.1
し尿処理手数料	6,609,240	6,870,780	△261,540	△3.8
ごみ処理手数料	105,402,000	104,783,208	618,792	0.6
計	210,755,360	208,110,028	2,645,332	1.3

廃棄物処理手数料を前年度と比較すると2,645,332円(1.3%)の増加である。これは主に可燃ごみ処理手数料が増加したことによるものである。

### (3) 歳 出

歳出決算額は、次のとおりである。

(単位：円、%)

予 算 現 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 率
1,973,876,000	1,951,233,018	0	22,642,982	98.9

歳出決算額は1,951,233,018円で、執行率は98.9%、不用額は22,642,982円である。

各款別決算額は、次のとおりである。

(単位：円、%)

区 分 款	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 率	構 成 比
議 会 費	228,000	150,000	0	78,000	65.8	0.0
総 務 費	128,173,000	125,943,283	0	2,229,717	98.3	6.5
環 境 衛 生 費	1,601,495,000	1,583,792,817	0	17,702,183	98.9	81.2
公 債 費	242,348,000	241,346,918	0	1,001,082	99.6	12.4
予 備 費	1,632,000	0	0	1,632,000	0.0	0.0
計	1,973,876,000	1,951,233,018	0	22,642,982	98.9	100.0

支出の主なものは、総務費では、退職手当73,351,727円、プラザ棟等施設管理委託料3,921,264円、温浴施設管理業務委託料2,183,763円である。

環境衛生費では、収塵車管理費のごみ(可燃・資源)収集業務委託料322,347,600円、指定ごみ袋製造管理業務委託料37,510,260円、クリーンセンター費の燃料費35,529,936円、光熱水費116,238,519円、修繕料36,929,000円、クリーンセンター運転管理及び展開検査業務委託料228,091,680円、飛灰処理委託料25,430,012円、焼却機器類保守点検委託料32,292,000円、施設改修工事費213,084,000円、し尿処理場費の燃料費27,453,362円、光熱水費34,710,885円、修繕料57,649,320円、薬品費11,994,640円、浄化センター運転管理委託料73,710,000円である。

公債費では、元金償還金224,300,568円(全て名張市分)、償還金利子17,046,350円(全て名張市分)である。

〔款別歳出比較表〕

(単位：円、%)

款	区 分	支 出 済 額		比 較 増 減	増 減 率
		平成30年度	平成29年度		
議 会 費		150,000	155,000	△5,000	△3.2
総 務 費		125,943,283	100,480,835	25,462,448	25.3
環 境 衛 生 費		1,583,792,817	1,558,066,343	25,726,474	1.7
公 債 費		241,346,918	241,346,918	0	0.0
予 備 費		0	0	0	—
計		1,951,233,018	1,900,049,096	51,183,922	2.7

支出済額を前年度と比較すると51,183,922円(2.7%)の増加である。これは主に、総務費では、退職手当が26,150,013円、環境衛生費では、クリーンセンター費の光熱水費が11,291,678円、施設改修工事費が19,364,400円増加したことによるものである。

〔組合債の状況〕

(単位：円)

科 目	平成30年度当初 未償還額	平成30年度 借入額	平成30年度償還額			平成30年度末 未償還額
			元 金	利 子	計	
組合債	1,276,103,067	0	224,300,568	17,046,350	241,346,918	1,051,802,499

当年度末の未償還額は1,051,802,499円で、これは全て名張市分である。



(4) 財産に関する調書

公有財産及び物品にかかる管理状況は、次のとおりである。

[公有財産]

(単位：㎡)

区 分		平成29年度末現在高	平成30年度中増減高	平成30年度末現在高
行政財産	土 地	60,340.15	0	60,340.15
	建 物	16,183.71	0	16,183.71

[物 品]

(単位：台)

区 分		平成29年度末現在高	平成30年度中増減高	平成30年度末現在高
小型乗用自動車		0	0	0
小型貨物自動車		1	0	1
軽四貨物自動車		1	0	1
ダンプ	2t車	1	0	1
	4t車	3	0	3
塵芥車	パッカー車	7	0	7
	プレス車	1	0	1
低床式トラック	2t車	3	0	3
ブルドーザー		0	0	0
トラッシュローダー		0	0	0
ホイールローダー		2	0	2
フォークリフト		4	0	4
油圧ショベル		1	0	1
計		24	0	24

(注) 意見書の比率(%)は原則として小数点以下第2位を四捨五入し、第1位までとした。従って、構成比において、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

## む す び

以上が平成 30 年度伊賀南部環境衛生組合一般会計の決算審査の概要である。

当年度の決算額は、歳入総額 1,985,318,585 円、歳出総額 1,951,233,018 円で、差引額は 34,085,567 円となり、実質収支額も同額となっている。

歳入について、総額を前年度と比較すると 11,774,964 円 (0.6%) の増加となっている。款別決算額で増加となった主なものは、繰越金で 35,659,997 円の増である。構成 2 市の分担金の合計額を前年度と比較すると、27,262,000 円減少しているが、これは繰越金が大幅に増加したことによるもので、この増加分を除くと分担金は前年度より増加していたことになる。

歳出について、総額を前年度と比較すると、51,183,922 円 (2.7%) の増加となっている。款別決算額で増加となった主なものは、総務費で 25,462,448 円の増で、一般管理費の退職手当が増加、環境衛生費で 25,726,474 円の増で、クリーンセンター費の工事請負費が増加したことが主な要因である。

伊賀南部環境衛生組合においては、労務単価の上昇による委託経費の増加、操業以来 10 年を経過したクリーンセンターの機械設備等補修経費の増加など、今後もますます維持管理経費の増加が続くものと予想されるが、構成 2 市の財政負担も勘案し、あらゆる角度から契約内容の十分な検証を行い、経費節減に取り組み、より効果・効率的な予算執行とすることで、分担金の抑制に努められたい。

なお、業務等の発注にあたっては、引き続き入札・契約事務の公平性・透明性・公正性及び競争性の確保に努められたい。

クリーンセンター及び浄化センターの処理料金については、受益者負担の原則から施設運営コストなど適正な行政コストを把握するとともに、それに対する受益者負担のあり方の検証を望むものである。

また、施設の維持管理や日常業務においては、委託事業者との情報共有を密にし、適時・適切に厳正な執行管理を徹底して行うことで、事故の発生を未然に防ぐよう安全管理の強化に努めるとともに、施設の火災事故等のリスクを低減させるため、市民へのごみの分別の徹底について、一層の啓発に努められたい。

最後に、クリーンセンター及び浄化センターについては、協定の期限を見据え、構成市と協議し、効率的かつ継続的な計画の策定に取り組むとともに、施設周辺の住民はもとより生活者全体の安心・安全を確保しつつ、快適な生活環境の保全と公衆衛生の向上に努められたい。

